



Close up

*修学旅行生が池田町で農家民泊！

2011.

11
NOVEMBER
No.023



「このたび、池田町・本別町・足寄町・陸別町の4町で連携した「ちほく体験観光協会」による修学旅行生の民泊受入事業が実施されました。

子ども農山漁村交流プロジェクトが平成20年度より実施されていますが、平成22年度にちほく4町での取り組みがモデル地域に認定されております。平成22年度は口蹄疫の関係で民泊受入を中止した経過にあります。今年度は池田町でも

子も農山漁村交流プロジェクトが平成20年度より実施されていますが、平成22年度にちほく4町での取り組みがモデル地域に認定されております。平成22年度は口蹄疫の関係で民泊受入を中止した経過にあります。今年度は池田町でも

民泊受入の依頼があり、NPO法人自然体験学校が事務局となり取り進めました。池田町では10月12日～13日に大阪香里丘（こおりがおか）高校の修学旅行生54名（男子21名、女子33名）に農家民泊と農作業を体験していただきました。（香里丘高校2学年9クラス360名のうち十勝地区に5クラス200名、上川地区に4クラス160名と分かれて農家民泊を実施しまし



た。十勝では池田町で54名、本別町・足寄町で66名、陸別町で80名を受入れました。今年の3月に事務局より民泊受入について協力依頼があり、4月に組合員の皆様に民泊受入の募集を行いました。農協と自然体験学校で募集を行ったところ、合わせて15戸（うち当農協の組合員12戸）のご家庭で受入していただけたことになりました。

5月と8月及び9月に受け入に備えた打ち合わせを経て、農家民泊を実施しました。

た。十勝では池田町で54名、本別町・足寄町で66名、陸別町で80名を受入れました。今年の3月に事務局より民泊受入について協力依頼があり、4月に組合員の皆様に民泊受入の募集を行いました。農協と自然体験学校で募集を行ったところ、合わせて15戸（うち当農協の組合員12戸）のご家庭で受入していただけたことになりました。

5月と8月及び9月に受け入に備えた打ち合わせを経て、農家民泊を実施しました。



修学旅行生が池田町で農家民泊!



11月号 CONTENTS

表紙	1
Close up	2
農協法公布記念日にあたって	4
21NEWSアラカルト	5
TPPでどうなる?	8
金融共済課より	10
生産資材課より	11
農業祭のお知らせ	12
當農部通信	13
農産部通信	14
畜産部通信	16
今月のオススメ	18
理事会の動き	18
編集後記	18



表紙

今月の表紙は、10月12・13日に行われた農家民泊のお別れ会で、大阪香里丘（こおりがおか）高校の修学旅行生と受け入れ家庭との集合写真です。



小澤和秀様宅にて



中西悦夫様宅にて



石田勉様宅にて

て、10月12日の夕方に西部地域ミニユティセンターで受入の対面式が行われ、池田町長・勝井勝丸氏の挨拶と受入家庭を代表して神谷敏治氏より歓迎の挨拶の後、生徒たちはそれぞれの家庭へ移動しました。生徒たちと一緒に夕食を準備し食事を楽しみ、夜遅くまで懇談したようです。



坂本農場様宅にて

翌日は午前中に各家庭で農作業体験を行いました。ごぼうの掘り取り作業、搾乳作業、豆より、ビートのまくら堀作業、玉ねぎのネット詰め作業など生徒にとつては初めての農作業体験だったと思われますが、みんなとても楽しそうでした。

西部地域ミニユティセンターで実施されたお別れ式では、受入家庭の家族と記念撮影をし、別れを惜し



塙谷享様宅にて



お別れ式の様子

この体験を機に、生徒たちの第2の故郷となり、再び池田町を訪れてくれればと考えます。

農業に携わる組合員皆様の普段の生活やお仕事（農作業体験など）を通して、「農業の素晴らしさと苦労」「人との触れ合い」を体験していました。

収穫作業のお忙しい時期にもかかわらず、受入にご協力いただきました組合員の皆様、大変ありがとうございました。

んでおりました。

農業に携わる組合員皆様の普段の生活やお仕事（農作業体験など）を通して、「農業の素晴らしさと苦労」「人との触れ合い」を体験していました。



農協法公布記念日があたつて

北海道農業協同組合中央会 会長 飛田稔章

昭和22年11月19日に農業協同組合法（農協法）が制定され64年田を迎えた。制定当時は戦争の傷跡が生々しく、日本全土が荒廃する中で、国民の食料は不足し、食料確保の必要性と併せて農民の自主的立場を確立するために農村の民主化が最重要課題がありました。

このような時代背景の中から農協法が施行され、全国各地で農協が設立され、現在に至つております。農協は農地改革によって生まれた自作農を基本とした「農民の農民による農民のための」組織として、人々が連帯し助け合ひ、「」とを意味する「相互

扶助」の精神のもとに組合の農業経営と生活を守り、より良い地域社会を築くことを目的とした協同組織です。

農協法が制定されて以来、経済情勢や社会環境の変化に合わせてJAの事業展開や組織運営手法の変革が求められ、時代に即した法改正によりて、組合員の社会・経済的地位の向上に大きな役割を果たして参りました。さて、東日本大震災から半年以上が経過しましたが、復興への道筋は決して容易なものとはなっておりず、また原発事故の収束にも日途が立たず、全国の農業者や消費者は不案日々を

抱えています。私たちJAグループは、今後とも食料供給基地である被災地の復興に向けてあります。支援を続けていくこと、政府の指導のもとで安全・安心な農畜産物を安定的に消費者の皆様にお届けすることに、今こそ協同組合精神である「絆（あかな）」を大切にする価値観のもとで、総力を挙げて取り組むことが必要です。また、国連は平成24年を国際協同組合年とすることを宣言しました。「協同組合がよりよい社会を築きます」のスローガンのもと、協同組合の社会的役割・意義をアピール

ます。私は、今後とも厳しい情勢が予測されますが、組合員、役職員の皆様が農協法公布記念日を契機に、農協法の目的と意義を再確認して、JAが地域農業・農村復興の司令塔としての役割を發揮して頼れる組織として益々発展するよう共に頑張りましょう。

また、本年1月から様々な団体と連携し展開した「TPP交渉参加反対1千万署名全国運動」では、1166万人を超える国民から賛同する署名が寄せられました。こうした国民の要望を踏まえJAグループ一丸となつて今後も国民理解を促進していく必要があります。

今後とも厳しい情勢が予測されますが、組合員、役職員の皆様が農協法公布記念日を契機に、農協法の目的と意義を再確認して、JAが地域農業・農村復興の司令塔としての役割を發揮して頼れる組織として益々発展するよう共に頑張りましょう。



畜産部

北海道共進会 道産種雄牛の部 1等1席に対し褒賞授与

10月1日、(株)北海道畜産公社道東事業所において、第15回北海道総合畜産共進会「肉用牛部門」(9月10・11日開催)で好成績を収められた高嶋紳一さん(信取)に対し、(社)ジェネティクス北海道より賞状・褒賞が贈呈されました。

これは、北海道和牛の特色ある牛群造成に必要な種雄牛産子の実証展示と保留促進を目的に、今年度より新設された【第2部 北海道繫養種雄牛および北海道産種雄牛産子の部】での1等1席受賞(「あつか号」父:北平安)に対し贈られたもので、同日開催された「第8回ジェネティクス北海道黒毛和種枝肉共励会」の褒賞授与式の際に併せて行われました。

高嶋さんの「あつか号」は現在1歳の未経産牛であり、繁殖登録審査を受審する予定です。審査では高得点となり、高能力繁殖牛として今後、経営内において活躍する事を期待しております。

(記事・畜産部畜産課 米川 武)

農産課

藤丸デパート出店

帯広の藤丸デパートで開催されるオール十勝大収穫市に出店いたします。出店業者は50店ほどで十勝の各市町村の農産物、海産物、加工品など販売致します。当JAは池田町で収穫された農産物を販売します。地元の方をはじめ北海道内外の多く方々に買い求めいただきたいと思います。

組合員の皆様も、是非会場近くの知人や、親戚の方にお知らせくださいますようお願い致します。



(記事・農産部農産課 上田宝文)

会期 平成23年11月10日(木)～15日(火)

営業時間 午前10時～午後7時(15日は、午後4時まで)

場所 帯広市・藤丸デパート7階催事会場

農産課

ゆり根の収穫が始まりました!



待ち遠しい結果となりました。

H23年産の収穫は他作物の収穫作業が遅れ気味になってしまったことから、10月下旬から開始となりました。収穫されたゆり根は慎重に根切り・水洗いを行った後、規格毎にゆり根用に作られたおがくずとともに箱詰めされていきます。玉ゆりの出荷は年末まで続き、年末からはかきゆりの出荷も始まります。

北海道はゆり根の作付面積の98%以上を占めておりますが、その北海道においても年々作付面積は減少しております。当JAゆり根部会は、近年部会員が1名増え作付面積についてもやや増加傾向にあります。販売するまでには年数を要するゆり根ですが、部会員一丸となり互いに情報交換をしながら栽培しております。

今後、ゆり根を栽培してみたいという組合員の方がいらっしゃれば、部会としても全面的にバックアップできる体制ですので、是非ご相談ください。

(記事・農産部農産課 新沼二郎)

管理部

ビジネスマナー研修会開催

職員教育の一環として、10月13日に職員61名の出席でビジネスマナー研修会を実施いたしました。JAカレッジより講師を迎えて午前・午後・夜間の3回に分



けての開催です。挨拶、身だしなみ、敬語についての講義を受け、電話対応では実際に電話機を使っての実習形式となり、緊張した中にも和やかな雰囲気で進められました。

基本的なマナーを身につけ、組合員・お客様に失礼のない対応ができるよう今後も統一した教育に取り組んでまいります。

(記事・管理部管理課長 遠藤泰志)



管 理 部

外部研修報告会開催

今月も引き続き職員の外部研修報告会を実施いたしました。今回はJAカレッジ「上級管理者研修」に参加した農産課・永田課長、同じく「中級管理者研修」に参加した金融共済課・折笠課長からの報告です。

管理者としての役割は目標達成管理や部下育成、問題点の発見、解決など、また環境の変化を知り組織を変えるリーダーが必要とされています。現状に満足せずに、常に挑戦的であることが重要であるとのことでした。

(記事・管理部管理課長 遠藤泰志)

管 理 部

JA本所で避難訓練

地震・火災を想定した避難訓練及び消火訓練を10月6日（木）に実施致しました。金融窓口やATM室でのお客様も想定して、避難誘導を取り入れながら訓練を行いました。避難訓練終了後には、池田消防署より今回の訓練に対する講評が行われ、本年度2回目ということもあり、職員の慣れが出て緊張感の不足を指摘され日頃の災害意識向上の必要性を再認識しました。

次回は、「AED」（自動体外式除細動器）の使用を含む、救命救急講習を開催する予定です。

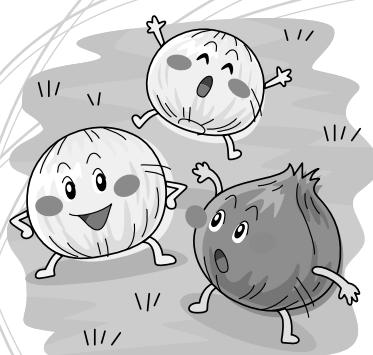


窓口顧客の安全確保

(記事・管理部長 大塚 順)

施 設 課

平成23年産 玉葱選別開始



現在、センターでは生産者から受入れした玉葱の選別作業が9月8日から開始され選別作業の最盛期を迎えております。

玉葱選別場では昨年より能力アップ出来るよう改造、改良を重ね処理能力も1日20tの原料を処理し前年よりアップされた中で順調に稼働しております。

又、9月12日で0災害も1500日に達成しており今後も職員は勿論、パート従業員一丸となって安全で働きやすい職場づくりに取り組んでいきます。

今後も取引先からの注文に即応し、有利販売に繋がるよう、従業員一丸となって安全作業に心がけ選別作業に取り組んで参ります。

(記事・農産部施設課 佐藤尚弘)



TPPでどうなる? 日本の 農業、経済暮らし もう一度じっくり考え方

今年3月の東日本大震災以降、経済界などから「復興のためにも早期参加が必要」というTPP(環太平洋連携協定)交渉への参加を求める声が再び高まっており、11月中旬にホノルルで開かれるAPEC(アジア太平洋経済協力会議)首脳会議を前に、TPP参加問題が大きな山場を迎えることになります。

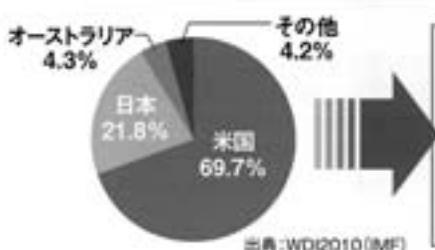
TPP交渉への参加は、被災地の現状や農家の心情を無視するだけでなく、国民の生活や国としての在り方を一変させかねない大きな問題です。JAグループでは、あらためてTPP反対を訴えるとともに、いま一度国民の皆さんとわが国の在り方や今後の農業、私たちの生活について考えてみたいと思います。

TPPがもたらすものは経済成長ではなく日本経済のさらなる悪化

TPP交渉参加国の中、日本の輸出先となり得る市場は米国市場のみです。しかし米国は、自國への輸出に依存した世界の経済成長を拒否しており、逆に米国からの輸出を増加させ、国内雇用を創出しようとしています。また、日本では為替リスクを回避するため、すでに多くの大企業が海外移転による現地生産を進めています。その一

方で、海外移転できない中小企業は、関税撤廃による安価な製品の大量輸入により、現在以上に厳しい価格競争にさらされることになります。その結果、日本経済を長年苦しめているデフレの悪化、資金引き下げなど、日本経済のさらなる悪化をもたらされることが懸念されます。

TPP交渉参加9カ国に日本を加えた10カ国の内需規模の比較(2007年)



- TPP参加9カ国に日本を加えたGDPシェアは、日本で90%以上であり、日米以外は、輸出依存度の高い経済規模国のみ
- オバマ大統領は、2010年の一般教書演説において今後5年間で輸出を倍増すると表明するとともに、グローバル・インバランス問題の原因である米国の過剰消費・貿易赤字の是正に乗り出す意思を表明。
- ◆ TPPで増えるのは日本の輸出ではなく、米国からの輸入

「TPPに参加しても例外が認められる」のは極めて困難

「TPPに参加しても、コメなどを関税撤廃の例外としたり、一定の経過期間を設けることは可能」との主張がありますが、TPP交渉に参加する米国など農産物輸出国は、こうした例外扱いを否定してい

ます。現在のP4協定において例外化されているものは、宗教上の理由など特別なものに限られていることからも、例外措置が可能との横説の見通しを持ってTPPへ参加することは極めて危険です。

平成23年5月12日 米国下院農業委員会 公聴会

クロフォード下院議員
(共和党:アーカンソー州)

●韓国とのFTAにおいてコメを例外としたことは悪い前例であり、TPPにおいては米国産のコメの市場アクセス拡大のため、いかなる例外も認めるべきではない。

カーク米国通商代表

●TPP交渉において、われわれは全ての参加国に対して全ての品目を自由化交渉の対象とするよう求めている。韓国のコメ市場は非常に保護主義的であり、米国はさらなる市場開放に向けた圧力をかけ続ける。

平成23年5月24日

米国・アジア太平洋協会

ニュージーランドのグローサー貿易大臣

●TPPにおいては、全ての品目が関税撤廃の対象であり、コメや砂糖を例外扱いするべきではない。



TPPに参加しても日本に不利なルールを丸飲みさせられるだけ

TPPに参加して日本に有利なルールづくりをする必要があるとの主張がなされますが、最終的には米国が中心となって策定された

ルールを強要されるという形になるだけで、わが国にはマイナスにしかなりません。

ウィキリークスに掲載された
ニュージーランド外交貿易省マーク・シンクレア
TPP首席交渉官の発言(米国大使館公電より)

「TPPが将来のアジア太平洋の通商統合に向けた基盤である。もし、当初のTPP交渉8カ国でゴールド・スタンダード(絶対標準)に合意できれば、日本、韓国その他の国を押しつぶすことができる。それが長期的な目標だ」
「米国との自由貿易協定は長年の目標ではあったが、広く一般に信じられているように国内産業にとってエルドラド(理想郷)となることはあり得ない」

出典:日本農業新聞記事より抜粋

貿易等に関する米国から日本への要求事項

日米経済調和対話(平成23年2月)

- ①郵政(米国企業との対等な競争条件の確立)
- ②保険(米国企業との対等な競争条件の確立)
- ③運輸・流通・エネルギー(自動車の基準緩和)
- ④農業関連課題(残留農薬問題・食品添加物)
- ⑤医薬品・医療機器

その他5項目

これら以外にも輸入牛肉の月齎制限の撤廃など
さまざまな要求を突きつけられる可能性

食品安全性に与える影響

- TPP参加により、輸入肉用牛の月齎制限が緩和され、牛海绵状脳症(BSE)リスクのある牛肉が日本国内に入ってくる危険があります。
- 現在日本で禁止されているポストハーベスト農薬(収穫後使用農薬)が使用可能となり、さらには、有機農産物の残留農薬規制を緩和させられることが想定されます。また、食品添加物については、日本では認められていないものについても、国際規格で認められるという理由で認可を求められる懸念があります。
- 遺伝子組み換え食品等の輸入拡大も懸念される上に、遺伝子組み換えである旨の国内表示ルールに対して、「貿易障壁」としてルール変更が求められる恐れがあります。

TPPに参加した場合…



ポストハーベスト農薬が使用可能に

残留農薬規制の緩和

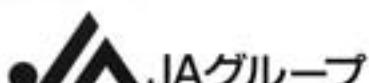
食品添加物の認可拡大

農業以外の分野に与える影響

- TPPの作業部会では、農畜産物や工業製品等の関税撤廃(下図□)だけでなく、金融・保険・医療等のサービスの自由化や、植物検疫・公共事業の入札制度等の国内制度の規制緩和・撤廃など、幅広い分野が交渉対象として議論されています。
- TPPに参加することによって、一部の工業製品の輸出拡大による経済的メリットと引き換えに、わが国の仕組みや基準が一変し、私たちの将来の暮らしに大きな影響が及ぼされます。



出典:内閣官房資料をもとに全文作成



金融共済課より

JAバンク貯金 金利上乗せ の キャンペーン2011

JAバンク
—未来とともに—

キャンペーン期間

11月1日 → 12月30日

預入条件

対象貯金：スーパー定期貯金

および 大口定期貯金

預入金額：10万円以上の新規預入

預入期間：3年以上5年以内

対象者：個人の方に限ります



預入期間 3年

店頭表示金利

+ 0.30%



預入期間 5年 *

店頭表示金利

+ 0.35%



お申し込み・お問い合わせは

※商品内容は、各店舗窓口にご確認下さい。

※本所金融共済課・池田支所、期間にかかわらず予定受入金額に達し次第終了とさせていただきます。

生産資材課より

来年度春肥料早期予約取りまとめ実施中！

締切迫る!!

いつも生産資材課事業の運営にご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、生産資材課で実施しております、下記奨励策の締め切り日が迫ってまいりました。

皆さんの生産コスト削減にお役立てできると思いますので、まだ申し込みされていない方は、ぜひご利用いただけますよう、お願い申し上げます。

1. 早期予約引取奨励

①対象肥料 系統の化成肥料、B B 肥料

②奨励措置 **30円／20kgにつき（単肥は10円）**

※11月末日までの予約にて申し込まれた系統肥料で、翌年6月末までに引き取りされた数量に対して奨励します。

早期予約第2回目申込期日：平成23年11月30日

2. 限月格差特別奨励

通常、肥料価格は四半期毎に分かれていますが、今年度からは肥料年度の始まる6～9月が安く、翌年の4～5月が最も高くなっています。農協では6～12月までの引き取りに対しては、最も安い6～9月の価格でお渡しする特別奨励を実施しています。

〈例〉 BBS662の引き取り価格

	6～9月	10～12月	1～3月	4～5月(当用期)
〈通常の価格〉	1,785円	1,815円	1,840円	1,865円
〈農協奨励価格〉		1,785円	1,840円	1,865円

奨励金を上手に利用しましょう!!

早期予約奨励 30円 + 限月格差 80円 = 110円

早期予約をして12月末までに引き取りを行った場合は、当用期20kg袋の引き取りに比べ1袋当たり110円も安くなり大変お得となります。

3. 系統肥料大口奨励

24春肥料【平成23年7月～24年6月】における系統（化成・B B ・単肥）肥料のご利用実績に基づき、皆様に還元いたします（奨励金総額200万円上限）。

4. その他

①奨励金支払時期：平成24年11月末頃

②肥料代クミカン引落時期：平成24年6月20日

○空いているホクレン肥料パレットがございましたら、早急に返却くださいますようお願いします。

2011

お知らせ

農業祭

11 / 木
17 ~ 19 土

時間

午前9時30分～午後6時
但し、19日(土)は午後4時まで

場所

Aコープ利別店南側駐車場
特設ジャンボテント



- ☆連合大売り出し
- ☆地場農産物即売会
- ☆いけだ牛即売会
- ☆牛乳消費拡大キャンペーン

もちまき大会

とき/11月17日(木)
午後3時30分より

アトラクション

宝引きゲームほか
(電化製品・農産物などが当たる!)

営農部通信

営農部
営農課

▶不要農機具等回収終わる

去る10月12日、2班にて不要農機具等回収を行いました（写真）。

事前に20件の回収申込があり、自宅周辺等に不要農機具や鉄くずなどを集めて頂き、委託を受けた回収業者の大型トラックに手際よく回収されました。鉄（1級）の買取価格は昨年よりも3円/kg高く買い取って頂き、組合員皆様のご協力によりましてスムーズに終えることが出来ました。



▶人間ドック受診の際の御連絡

後期人間ドックにつきまして、78名の方から申込がありました。受診する際に何点か注意事項がございますので、ご連絡致します。

- ① 今年度、国保の特定健診を受診していない方は、5月に役場から送付された受診券（黄色のA4版）を受診日当日必ず持参してください。
- ② 受診券を紛失されている場合は、早めに役場の町民課保険係（☎ 572-3114）へ連絡して再発行を依頼してください。
- ③ 75歳以上の方は、受診前に後期高齢者健診受診券を保健センターより送付するので、受診日当日必ず持参してください。
- ④ 子宮がん・乳がん検診・大腸がん検診の無料クーポンをお持ちの方は、人間ドックでも使用できますので、受診日当日持参してください。

▶家の光1月号のお知らせ



身近な旬のもの、家庭菜園の野菜をたくさん使ってできる、体にも環境にもやさしいエコレシピを掲載。電気・ガスなどのエネルギー消費をなるべく抑え、手間をかけずにおいしくできるレシピの数々を紹介します。

**身近な素材でエコレシピ
2012年
お料理カレンダー
366日**

1月号
別冊付録

家の光

人・J・A・地・域・が・元・氣

『家の光』定価(税込)／普通月号600円
付録月号(1・4・5・7・9月号)880円 家計簿付12月号980円

農産部通信 農産部 農産課・施設課

▶ 健康野菜の代名詞！ヤーコン出荷始まりました!!

ヤーコン栽培の先駆けである当JAヤーコン部会では、今年も3件で40haの栽培が行われています。本年のヤーコンの特徴はS規格でやや小ぶりではありますが、芋数は多いため収量は平年をやや上回る見込みです。

霜の影響で葉が枯れあがったら収穫時期の到来です。今年も10月上旬に収穫が開始され、生産者による厳しい選別作業を経て10月下旬から出荷がスタートしています。健康志向の高まりからか例年を上回る荷動きとなっており年内中に販売終了となる見込みです。

今後はヤーコンの栄養成分などの機能性を再整理し、調理方法とあわせて消費地へ提案を行いながら販売を進めていきたいと考えております。お勧めのレシピなどがありましたら是非農産部までお知らせください。宜しくお願ひ致します。



▶ 指導チーム活動状況 (平成24年産小麦圃場追跡調査について)

10月より指導チームで平成24年産小麦の圃場追跡調査を開始いたしました。調査させて頂く組合員の方につきましては、ご協力お願い致します。

地区ごとに同一圃場を今秋から収穫期まで追跡調査していきます。収穫までの調査結果を農業技術情報などで随時報告致しますので、播種量、茎数、追肥の時期や量などを自分の圃場と比較していただき、参考にしてください。

○10月20日より一回目の圃場調査として小麦の出芽数調査を実施いたしました。調査内容は、①出芽数②畦間③草丈④葉数⑤播種深度⑥pH⑦土壤硬度となっています。小麦の播種作業が平年よりも遅れておりますが、調査圃場の出芽率は94%という結果でした。また、調査圃場の詳しい結果に関しましては農業技術情報(10月26日発行)をご参照ください。以下、今後の調査予定となっております。

○調査予定

時 期	内 容	時 期	内 容
10月下旬	出芽数、畦間、草丈、葉数、播種深度、pH、土壤硬度	5月上旬	幼形期茎数、追肥量
		5月下旬	上位茎数、茎数、SPAD(葉色)
11月中旬	越冬前茎数	6月上旬	止葉期茎数、追肥量
3月下旬	融雪促進、越冬状況	7月上旬	草丈、穗長、桿長、穗数、段数
4月上旬	硝酸態窒素、起生期茎数、追肥量	7月下旬	収量、整粒率

▶平成23年度 小麦壳渡実績について

平成23年産小麦については、全作付が「きたほなみ」に移行された年となり、今年度はコンバインの払下や増車という事もあり長時間待機して頂く事が発生致しましたが皆様のご協力に対し大変感謝申し上げます。

受入は7月24日から開始され実質11日間という期間で無事終了する事が出来ました。これも生産者の皆様のご協力によるものと厚くお礼申し上げます。

壳渡については全量1等の壳渡となり9月29日で全量壳渡が完了致しました。反収は春先の低温等の影響もありましたが、「きたほなみ」では昨年よりは2.2俵プラスとなり壳渡数量では9俵の実績となりました。

今年の調整は細麦、開口未熟等もあり厳しい調整となりました。品質面ではランク区分4項目中3項目クリアとなり全量Aランクとなりました。

次年度も尚一層品質が重視されますので良質麦生産に努めてください。

平成23年産 小麦受入状況 及び 壳渡実績

	平成23年実績		平成22年実績			
	きたほなみ	ホクシン	きたほなみ			
刈取面積	144,498	a	88,980	a	50,781	a
受入原料数量	11,406,600	kg	4,837,000	kg	3,479,880	kg
受入平均水分	23.6	%	26.6	%	26.5	%
乾麦重量	9,912,300	kg	3,715,700	kg	2,673,200	kg
10a当たり乾麦重	685	kg	417	kg	526	kg
同俵数	11.4	俵	7.0	俵	8.8	俵
壳渡数量	7,794,000	kg	2,626,000	kg	2,076,000	kg
同俵数	129,900	俵	43,766	俵	34,600	俵
10a当たり壳渡反収	539	kg	295	kg	409	kg
同俵数	9.0	俵	4.9	俵	6.8	俵
歩留	85.5	%	72.2	%	79.1	%
概算単価	24.516	円/kg	40.835	円/kg	40.737	円/kg
仮渡金額	191,077,704	円	107,232,710	円	84,570,012	円
10a当たり金額	13,223	円	12,051	円	16,654	円
規格外数量	1,317,000	kg	1,009,000	kg	550,000	kg
10a当たり屑反収	91	kg	113	kg	108	kg
同俵数	1.5	俵	1.9	俵	1.8	俵
合計	9,111,000	kg	3,635,000	kg	2,626,000	kg
10a当たり総反収	630	kg	408	kg	517	kg
同俵数	10.5	俵	6.8	俵	8.6	俵



畜産部通信 畜産部 畜産課

9月家畜市場成績（ホクレン十勝市場・十勝中央家畜市場開催分）

肉牛市場上位5傑（去勢）

【体重(kg)・金額(円)】									
9月13・14日	父	母の父	母の祖父	日令	体重	価格(税込)	kg単価	日令単価	D G
1	第1花国	平茂勝	安平	270	351	537,600	1,532	1,991	1.19
2	百合茂	安福久	金幸	319	334	530,250	1,588	1,662	0.95
3	菊福秀	平茂勝	神高福	286	326	528,150	1,620	1,847	1.03
4	白清85の3	平茂勝	第1花国	264	311	525,000	1,688	1,989	1.06
5	福安照	平茂勝	安平	270	329	511,350	1,554	1,894	1.11
全 体	十勝平均			283	307	423,726	1,379	1,514	0.99
	JA十勝池田町平均			284	302	422,275	1,395	1,505	0.96
十勝最高	百合茂	安福久	平茂勝	276	338	556,500	1,646	2,016	1.12

肉牛市場上位5傑（メス）

【体重(kg)・金額(円)】									
9月13・14日	父	母の父	母の祖父	日令	体重	価格(税込)	kg単価	日令単価	D G
1	安福久	平茂勝	福桜(宮崎)	322	302	555,450	1,839	1,725	0.85
2	菊福秀	勝忠平	安福165の9	287	317	445,200	1,404	1,551	1.01
3	百合茂	福桜(宮崎)	安平	278	315	423,150	1,343	1,522	1.03
4	茂勝栄	安平照	平茂勝	306	344	402,150	1,169	1,314	1.03
5	北平安	第1花国	平茂勝	273	298	400,050	1,342	1,465	0.99
全 体	十勝平均			298	291	348,143	1,198	1,179	0.89
	JA十勝池田町平均			304	290	349,650	1,207	1,159	0.87
十勝最高	菊福秀	北国7の8	紋次郎	265	299	639,450	2,139	2,413	1.02

主要種雄牛別成績（去勢）【金額(円)】

	種雄牛	取引頭数	平均価格(税込)
1	北平安	106	421,139
2	安茂勝	76	420,484
3	平忠勝	71	414,085
4	茂勝栄	40	403,305
5	安福勝	37	415,289

主要種雄牛別成績（メス）【金額(円)】

	種雄牛	取引頭数	平均価格(税込)
1	北平安	88	345,522
2	安茂勝	63	341,100
3	平忠勝	55	329,299
4	安福勝	39	332,931
5	茂勝栄	32	343,941

F1・育成・乳牛・馬市場【金額(円)】

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税込)
9月5日	乳牛育成	433	253,380
9月7日	乳牛初妊	443	488,245
	乳牛経産	57	287,626
9月15日	F1去勢	1,096	247,937
9月16日	F1メス	1,391	190,986
9月22日	乳牛初妊	432	472,352
	乳牛経産	68	354,900

枝肉市場

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税込)
9月3日	黒毛去勢	A-5	1,813
		A-4	1,558
		A-3	1,400
9月17日	黒毛メス	A-5	2,127
		A-4	1,550
		A-3	1,390
F1去勢	B-3	B-3	1,162
		B-2	997
		B-3	1,097
F1メス	B-2	B-2	916

十勝中央家畜市場【金額(円)】

開催月	区分	平均価格(税込)
9月	乳牛才ス初生	23,128
	F1才ス初生	99,245
	F1メス初生	56,613



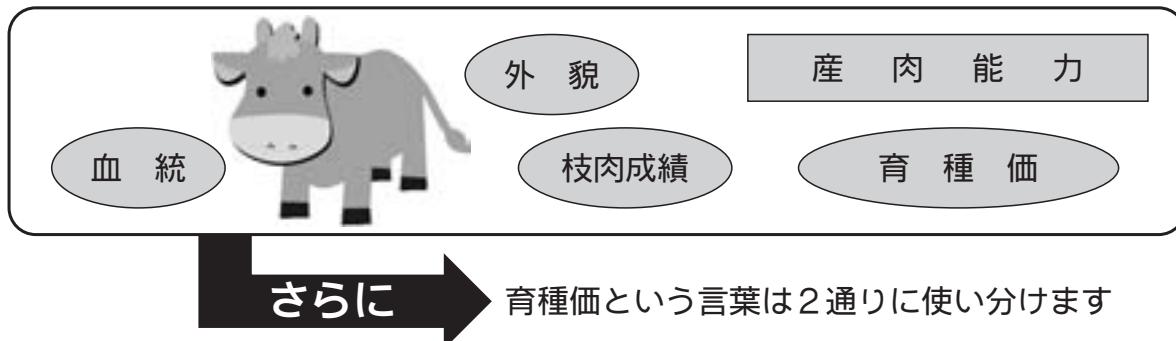
▶ 育種価を活用した和牛生産について(パートⅠ) —

肉用牛として能力の高い子牛生産に繋げるためには、種雄牛並びに繁殖雌牛の遺伝的な能力評価から、適正な種牛選抜や交配計画を進めることが重要になります。

そこで、育種価を活用した和牛生産に着目し、今回より数回掲載していきます。

育種価とは…

外見や血統以外に牛の能力を推定する方法で、親から子に伝える能力（遺伝的能力）の度合を数値で示したものです。

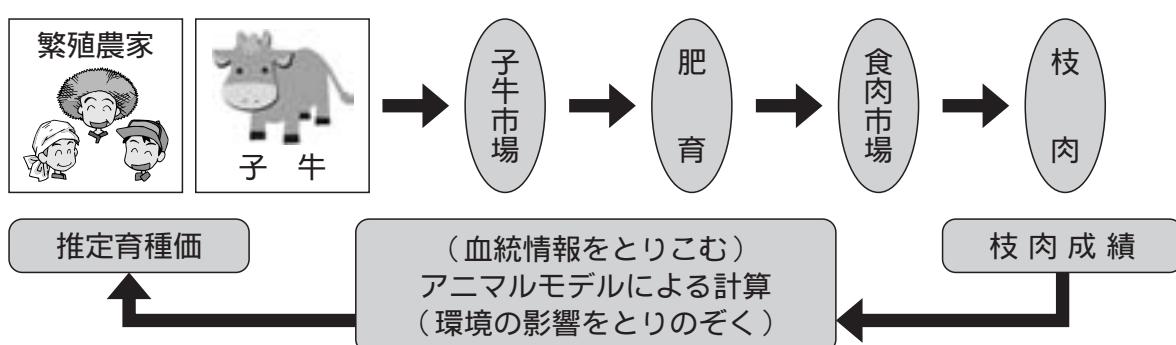


(1) 推定育種価 (すいていいくしゅか)

普段「育種価」と呼んでいる数値は、「推定育種価」というものです。

「推定育種価」とは、繁殖牛から生産された子牛の肥育成績（枝肉データ）と血縁からの情報を加味して計算された、すなわち、それらの情報に基づいて推定した能力の評価値であります。

つまり、1頭以上の枝肉データに基づいて、それらの母や父、それにつながる親戚縁者（牛）の遺伝的な能力が計算（推定）されたものを「推定育種価」といいます。



(2) 期待育種価 (きたいいくしゅか)

「推定育種価」に対して、「期待育種価」という言葉を使うことがあります。

「期待」とは、その漢字が表わすように、推定育種価をもつ両親同士、交配させた場合、その子供に期待できる能力を数値で表したものであります。

まだ生まれていない子供や、育種価が推定されていない個体の能力を、両親の推定育種価を用いて計算することができます。

$$\text{子牛の遺伝的能力} = \frac{\text{父牛の推定育種価} + \text{母牛の推定育種価}}{2}$$

理事会の動き

第8回 <平成23年10月28日>

★ 報告事項 ★

- (1) 准組合員の加入について
- (2) 農産物の出荷状況について
- (3) 組合財務の現況について
- (4) JA全国監査機構一般監査における事務整備を要する事項について

★ 議案 ★

- (1) JA全国監査機構一般監査における監査結果について
- (2) 相続による持分譲渡と新規加入承認願いについて
- (3) 個人情報保護に係る内部審査規程の改正について
- (4) 農業祭の開催について

★ 協議案 ★

- (1) 役員(理事)欠員の対応について



5 今月のオススメ



きのこのリゾット

材料(4人分)

米……米用カップ2(360ml)
シメジ……1パック(100g)
エリンギ………3本(100g)
タマネギ………半分(100g)
エビ(殻付き)………200g
オリーブ油………大さじ1と1/2
ピザ用チーズ………50g
粉チーズ(好みで)……少々
A
スープのもと……小さじ2
水………約900ml
塩………小さじ1/2
こしょう………少々

作り方

(1人分 約430kcal)

- ①タマネギはみじん切り、シメジは根元を落とし、ほぐす。エリンギは長さを半分にして薄切りにする。エビは背ワタと殻を取る。
- ②Aを合わせて、温めておく。
- ③厚手の鍋にオリーブ油を熱して、エビを炒めて取り出す。同じ鍋にタマネギを入れしんなりしたら、米を(洗わずにそのまま)炒める。米が熱くなつたら、きのこを加えて、ひと混ぜする。
- ④②をかぶるくらい加え、煮立つたら、エビを加え、弱火で17分煮る。途中、スープが少なくなつたら足す(焦がさないように注意する)。
- ⑤仕上げにピザ用チーズを加えて溶かす。食べるときに、好みで粉チーズを振る。

あつといつ間に寒くなりましたね！コタツの季節ですね！学生時代に私の周りだけかもしませんが、コタツとストーブで暖まりながらアイスを食べるのが流行っていました。今考えてみれば暑いのか寒いのかわからない行動をしていました。みんなも一度試してみてください！意外とはまるかもしません。でも、今年からは厚着をして暖房を使わないようにしてエコに取組んでみようと思います！もちろんアイスは控えめで…

(M)

